

かけはし

黄の2組

～秋のダイナミックワールド号～

「秋のダイナミックワールド」において、黄の2組で展開されている遊び、その遊びが始まったきっかけなど、ご紹介させていただきます。各クラスの「かけはし」は、本園 Web サイト「園からのお便り」のページにも掲載する予定です。よろしければ、ぜひ、他クラスの遊びの様子もご覧ください。

クラスで歌っている『うちゅうせんのうた』が大好きな子どもたち。「宇宙船に乗ってみたい!」「どんな星があるのかな?」「宇宙人に会ってみたい!」と、宇宙へのイメージを膨らませ、絵を描いたり、身近な素材を使ったり、遊びに必要なものをつくり始めています。「丈夫な段ボールをつかおう」「軽い素材のほうがよく飛ばよ!」「同じ紙でも、種類によってざらざらしたり、つるつるしたりするんだね」など、素材の特性に気づく姿もみられました。

★ 身近な素材をリユース うちゅうせんゲーム ★

身近な素材で工作をして遊んでいた子どもたちから始まった遊び。



どうしたらよく飛ぶのかな?



もっと難しいコースにしたい!



軽い素材のほうが風でよく飛ばそうだね

以前から、様々な素材をフリスビーにして遊んでいた子どもたち。「宇宙船をつかって飛ばしたい!」と、紙皿で宇宙船をモチーフにしたフリスビーをつくり始めました。つくる際に使用したボンドがなかなか乾かずに、保育者がドライヤーで乾かしていた際、風で紙皿が浮くことを発見! フリスビーを投げるとい遊びから、宇宙船を風の力で動かすホバークラフトへ変化していきました。風を起こしてホバークラフトを動かすために、おうちからうちわを持ってくる子もいました。今は、宇宙船がよく動くためのコースを試案中です。

★ 身近なものをリサイクル アクセサリーづくり ★

「かみ」の絵本を読んだ際に、新聞紙がいろいろなものになることを知った子どもたちから生まれた遊び。



新聞紙がドロドロしてきたよ!



「紙って水につけるとバラバラになるんだって!」「僕たちもやってみよう!」と、実験を始めた子どもたち。ペットボトルに、新聞紙と水を入れると、紙がドロドロに! 溶けた紙の繊維をゼリーカップに入れて、乾かしてみると、カップの形をした紙ができあがりました。「この紙で、時計とかネックレスをつくったらどう?」と、アクセサリーづくりが始まりました。

★ 身近な素材をリユース 流れ星にお願いをしよう ★

宇宙には流れ星があるよね! という、子どもの発言から生まれた遊び。



「カラフルで可愛い流れ星つくろうよ」「どうやってつくろうか?」「トイレットペーパーの芯に折り紙を貼って星にするのはどう?」と、流れ星づくりが始まりました。



ゴムの力を使えば、勢いよく流れ星が飛び、本物の流れ星同様に、流れているように見えるのではないかと、考えた子どもたち。ラップの芯とゴムを組み合わせて、発射台をつくりました。



「おおきくなれますように」「楽しいことがたくさんありますように」と、みんなでお願い事をしています。

★ 磁石で動く素材を発見 うちゅうせんのうたシアター ★

赤組(3歳児)の頃、磁石にクリップをつけて遊んでいた子どもたちのアイデアから生まれた遊び。



いろいろな色の星があったら楽しそう!

自分たちで絵を描いては、それを磁石で動かして、映画館ごっこをしていた子どもたち。『うちゅうせんのうた』の歌の世界を映画館で再現しようと、自分たちの想像を膨らませながら、宇宙の絵を描き始めました。



遊んでいく中で、「紙にクリップがついてないと磁石につかないね」「磁石同士でも、くっつく方と、くっつかない方があるよ!」などと、磁石の特性に気がつく姿もみられました。



ほくらはこどもの〜うちゅうのたんけんたい〜♪

『うちゅうせんのうた』に合わせて、自分たちの絵を動かしながら、宇宙旅行をしている気分を味わっています。

★ 秋の自然物をつかって どんぐりコロコロ ★

大学キャンパスへのお散歩で見つけた自然物と、身近な素材を組み合わせた遊び。

空き箱を使って、楽しい遊びができないかと考えていた子どもたち。空き箱に様々な素材(ストロー・キャップ・段ボール)を貼っていき、迷路をつくると、そこにどんぐりを転がし、ゴールを目指すゲームができました。



いろんな素材を使ってみよう!



のりよりもボンドの方が強く貼れるね